

私のイチオシ機能・部屋を理由付きで整理しましょう！

グループ③

体育館、運動場

とにかく安全に走り回れる場所

生鮮ショップ（地域野菜等） 手作りショップ

買い物する場所が近隣にないため

子供の様子が見える図書館

兄弟姉妹が多くても、みんなで遊びに来ることができ見守りつつ、親の肩の力が抜けるスペースは必要

高齢化のトップランナーである南あわじ市において、お店の手伝いにおじいさん、おばあさんも参加できるようにすることで、高齢者のフレイル予防となる。

お店のお手伝い、DIY工作で貯めた「しとおりコイン」でカフェの食べ物と交換できる
→倭文版キッズニア・しとおりコイン

ショップ、ブックストア、カフェスイーツ、レストラン、バイキング

子供をターゲットの遊び場を考えると、本当のターゲットはその親であり、おじいちゃん、おばあちゃんである。ここは今や限界集落の二歩手前であり、子供数は超減少している。

この中学校を移住者ファミリーが増え、子供が増えるための案が必要である。つまり、地元民さんが行列するような人気の施設でないといけない。日々の買い物、食事、買い物、コミュニケーションである。

親等が子供さんと同行し、施設に行く。親は楽しく買い物をする。子供は子供コーナーへ。親は買い物のおと、雑誌、本、趣味本を手にしてカフェで閲覧し、新しい発見を楽しむ。またカフェメニューを注文すると、店員さんは自分の子供たちである。本物の働く、キッズニアである。子供たちは学校で楽しく勉強し、ここでは働く楽しさを学んでもらい、賞金は「地域通貨」を発行し、貯めてもらう。数か月後に貯めた通貨で親にカフェでスイーツをプレゼントするなど学校で学べない働く楽しさを学び、進学も楽しいが、学校卒業後に島外に進学するのではなく、地元で働いてみようと考え、地元に残り、事業をするようなきっかけになり人口減をストップさせ、交流をはかる。

体育館（フットサルができる、壁にボルダリング）

南あわじ市でボールを蹴って遊べる場所がないので、体育館の半面でもボールが蹴られる仕様になるとよいと思います。またフットサル教室を開きたいという要望が島内にあることを聞いていますので、日常的な活用につながると思います。

ボルダリングは最近ではDIYでも取り付けられます。小さい子供でもできるように、ストーンの設定調整が自由自在なつくりになるとよいと思います。

ビオトープ（自由に中に入ってメダカなどを取ってもよい）

洲本千草のアジサイ園のイメージです。田んぼのようなビオトープで水生昆虫や魚などが見られる中に裸足で入って泥遊びができると楽しいと思います。泥だらけになっても隣のシャワー更衣室で泥を落とせると、よく活用してもらえそうです。

e-sportsルーム

島内にe-sportsルームを備えた遊び場がない。整備することでローカルワシ施設として話題も生まれ、集客力も見込められると思われる。

プレイルーム（ロールプレイ部屋）

脳発達の黄金期におけるロールプレイ体験が、社会性・認知能力の発達を推進し、施設の教育的価値を高めるため。

プレイルーム、わんぱくエリア、よちよちエリアの3ブース→休憩室

- ・わんぱくエリア：メインの大型遊具、アスレチック（小学生）
- ・フワフワ：トランポリン、ボールプール（幼児）
- ・カーペット、クッションブロック：ごっこ遊び、すべり台のよちよちエリア（乳児）

※年齢別のゾーン。壁はなく間仕切り程度で見渡せるように。年齢別でも交流できるように

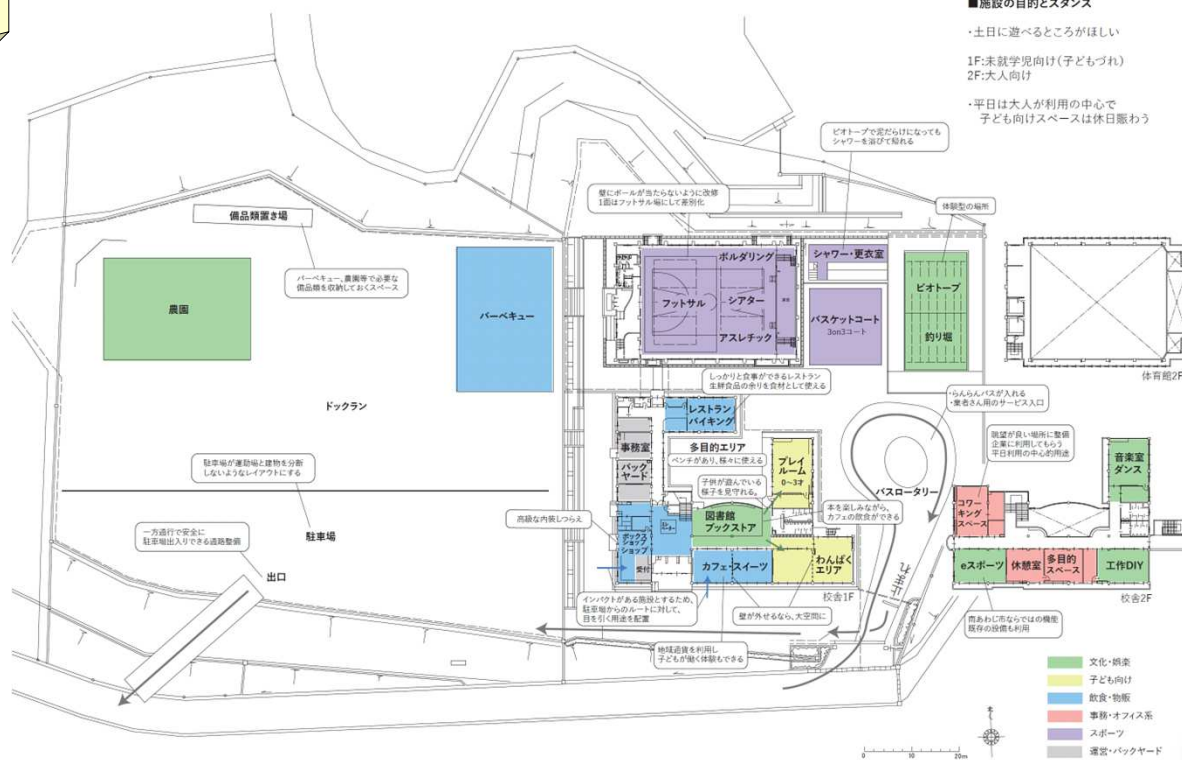
ショップ BOXショップ（商品を入れ替えることにより、行くたびに变化。リピーターを増やす）

- ・子供服、おもちゃ、不用品、リサイクル品のゆずりあいができる。
- ・絵本のかえっこ。1冊持参、1冊持ち帰り可能。
- ・地域の人が作った農作物、しずおり作品、果物等、自分で値段をつけてつくりがいがアップ。
- ・趣味、特技を生かした物、作家さんが多いので、出品の機会に。PRの名刺やインスタ案内も置く。
- ・駄菓子、ガチャガチャ、シール（子どもが好き）

工作DIY

大人も子どもも自己表現できる場。ものづくりが得意、好きな気持ちの伸ばせるため。

グループ3 レイアウト案



■施設目的とスタンス

・土日に遊べるところがほしい

1F:未就学児向け(子どもづれ)
2F:大人向け

・平日は大人が利用の中心で
子ども向けスペースは休日賑わう

■施設の目的とスタンス

・土日に遊べるところがほしい

1F:未就学児向け(子どもづれ)
2F:大人向け

・平日は大人が利用の中心で
子ども向けスペースは休日賑わう